

静岡北特別支援学校の花苗植栽をお手伝いしました (2022年3月1日)

令和4年3月1日(火)、静岡県立静岡北特別支援学校においてプランターへの花苗植栽をお手伝いしました。植栽指導は(有)飯田庭園の太田さん、深澤さん他2名、植栽を行ったのは中学部1年30名と先生13名です。

開会式に続き、太田さんからプランターへの土の入れ方、花苗の植え方の説明を受けた後、4班に分かれて「パンジー」と「ビオラ」を4鉢ごとプランターに植えました。

植栽後に全員で水やりを行い、太田さんからこれからの管理のやり方を学びました。

生徒の皆さんが植えたプランターは3年生を送る卒業式のフラワーロードになるそうです。



最初に花苗の植え方の説明がありました



4班に分かれて花苗植栽開始です



先生も一緒に作業します



最後にこれからの花の手入れについて聞きました

ツリークライミング技術研修会(資格取得講座 BAT-2)がスタートしました (2022年2月21日)

令和4年2月21日(月)、富士市岩本の「岩本山公園 休憩芝生広場」において、ツリークライミング技術研修会(資格取得講座 BAT-2)がスタートしました。

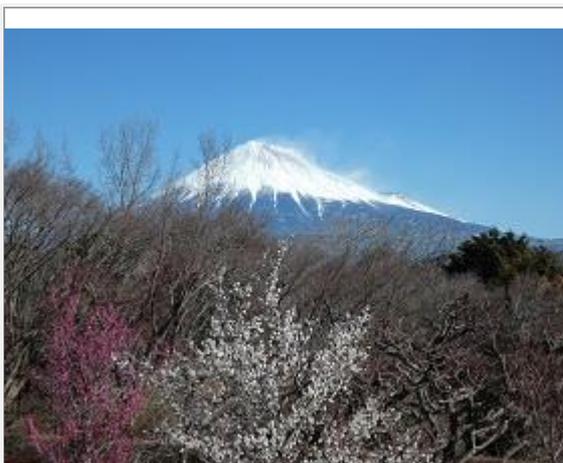
今回は21日、22日、24日の3回の講座を予定しており、ツリークライミング講座の第2段階として、昨年の3月と8月に開催した BAT-1 講座(クライミング技術)に続き、簡易なりぎング技術(枝や幹のコントロールされた吊り下ろし)を学ぶ内容です

講師は、アーボリスト®トレーニング研究所 ATI 認定トレーナー 渡邊真威氏ほか4名、受講者は本会会員33名が参加します。

初日の21日は13名参加し櫻井会長の挨拶があった後、午前中はリギングロープやブロック(滑車)等の用具の知識を学ぶ座学やリギングに使用するロープの結び方(カウヒッチ等)の練習を行いました。

午後は、4班に分かれリギング作業の実習を行いました。木に登るクライマーと地上でクライマーの補助をするグランドワーカーの作業の両方を交代して学びました。

会場が有名な梅の名所のため、富士山をバックに梅林を撮影するカメラマンや自然散策する人達でにぎやかでした。



会場は梅と富士山が有名な公園



櫻井会長の開会挨拶



ツリークライミング技術研修会(資格取得講座 BAT-2)がスタートしましたを詳しく見る
技術研修会(新型充電式造園機械工具体験会)を開催しました (2022年2月1日)

令和4年2月1日(火)、静岡市駿河区のしずおか里山体験学習施設「遊木(ゆうき)の森」において、「技術研修会(新型充電式造園機械工具体験会)」を当協会主催で開催しました。まん延防止等重点措置期間中であることから少人数、短時間の屋外開催とし、県関係者2名と県造協会員6名の計8名が参加しました。

○研修目的

SDGsへの取組に対する社会的な関心が高まる中、地球温暖化に影響する排ガスを出さず、住宅地での騒音対策にも配慮した上でエンジン式に匹敵する能力を有した新しい充電式機械工具が注目されており、今後、造園業界においても環境に配慮した機械工具が主流となっていくと考えられることから、実際の製品に触れ業務への活用のヒントとする。

○研修内容

株式会社マキタ静岡支店主任の山本兼基氏、静岡営業所の東村悠平氏を講師とし、最初に山本氏から工具の概要、40Vシリーズの特徴などの説明を受けた後、2班に分かれ、①チェーンソー、②ヘッジトリマー、③ブロアー、④草刈機、⑤芝刈機等の説明とデモンストレーションを行いました

新型工具に興味のある参加者であったため、受講中に熱心に質問をしたり、工具を納得がいくまで動かすことが出来たことから有意義な体験会となりました。



技術研修会の開催



充電式工具の概要説明



新型の充電式チェーンソーの体験状況



ヘッジトリマーの概要説明



充電式草刈機の重量を確認



充電式ブロアーの概要説明

技術研修会(新型充電式造園機械工具体験会)を開催しましたを詳しく見る

「松くい虫被害対策における予防剤樹幹注入技術研修会」を開催しました (2022年1月19日)

令和4年1月18日(火)・19日(水)、静岡市清水区三保で「松くい虫対策における予防剤樹幹注入技術研修会」を静岡県森林計画課と共催で開催しました。

受講者51名の内、県造協会員28名が参加しました。

初日の18日は、講義で「三保生涯学習交流館多目的ホール」で行いました。内容は、森林・林業研究センター 加藤科長から「松くい虫被害とその対策」、森林整備課 猿田主任から「樹幹注入剤の正しい施工方法及び県仕様書についての説明」と「形成層障害の仕組み」、三保松原保全研究所 澤野課長から「三保松原の保全について」の講義がありました。また、薬剤メーカー4社の担当者から補足説明等がありました。

2日目の19日は、「みほしるべ」に隣接するマツ林で野外実習を行いました。3班に分かれそれぞれの班で、「樹種調査」、「施工場所の確認」、「薬剤注入」、「ボトル回収」、「打ち直し作業」の作業を各参加者が行いました。

最後に野外実習に関する質疑応答を行い、閉会しました。



(1/18) 松くい虫被害とその対策(加藤科長)



(1/18) 県仕様書についての説明(猿田主任)



(1/18) 受講者の様子



(1/19) 講師からの実習方法の説明



(1/19) 薬剤注入の実習(ドリル穿孔)



(1/19) 樹皮が厚い場合の対応説明(大石講師)

「松くい虫被害対策における予防剤樹幹注入技術研修会」を開催しましたを詳しく見る

櫻井会長、寺田副会長が川勝知事に年始挨拶をしました（2022年1月6日）

令和4年1月6日（木）、櫻井会長、寺田副会長が県庁を訪れ、川勝静岡県知事に年始挨拶をしました。知事室には（公財）静岡県グリーンバンク鈴木理事長、八木専務理事も一緒に入室しました。知事挨拶の後、難波副知事、市川くらし・環境部長にも年始挨拶を行いました。



川勝知事への年始挨拶



難波副知事への年始挨拶



市川くらし・環境部長への年始挨拶

櫻井会長、寺田副会長が川勝知事に年始挨拶をしましたを詳しく見る

「緑の宝」2022新年号が出来ました（2022年1月5日）

「緑の宝」2022新年号はこちらです。

（掲載内容）

- ・会長年頭挨拶
- ・知事年頭挨拶
- ・ツリークライミング技術研修会(基礎講座 BAT-1・特別教育)
- ・淡路花博20周年記念 花みどりフェア
- ・みどりのおたより(県環境ふれあい課から)
- ・森の力再生事業(県森林計画課から)

ほか



[「緑の宝」2022新年号が出来ましたを詳しく見る](#)

ツリークライミング技術研修会(ロープ高所作業(樹上)特別教育) (2021年12月1日)

令和3年12月1日(水)、静岡市駿河区谷田の「静岡県立中央図書館会議室」(実技は隣接する静岡県立美術館管理森林で実施)において、当協会主催のツリークライミング技術研修会(ロープ高所作業(樹上)特別教育)を開催し、当協会会員49名が受講しました。

○開催目的

ロープ高所作業特別教育は、高さ2メートル以上で作業床を設けることが困難な箇所においてロープで作業員の身体を保持して行う場合に必要となる特別教育です。

今回の研修では、特にツリークライミング技術を活用したロープ技術、作業の方法を学ぶことで、日々の剪定作業等の安全性の向上を目指します。

○研修の内容

BAT-1講座と同じく、アーボリスト®トレーニング研究所 ATI 認定トレーナー渡邊真威氏ほかを講師とし、ロープ高所作業、メインロープ等の知識や関係法令などの学科教育を4時間、ロープ作業の方法やメインロープの点検などの実技教育を3時間行いました。



櫻井会長の開会挨拶



【学科教育】座学の状況



休憩時間には用具への質問が多くありました



【実技教育】ツリークライミング技術の実習



【実技教育】ロープワークの実習



【実技教育】法面でのロープワークの実習

ツリークライミング技術研修会(ロープ高所作業(樹上)特別教育)を詳しく見る
静岡県優秀施工者褒状授与式 (2021年11月30日)

令和3年11月30日(火)、静岡市葵区の静岡市産学交流センターにおいて「令和3年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催され、第1部の「静岡県優秀施工者褒状授与式」において大島造園土木株式会社(静岡営業所)の柿島一男氏が表彰されました。

柿島氏は、豊富な施工体験を有するとともに、若手技術者の指導・育成に貢献してきた点が評価されました。



県交通基盤部勝又理事からの褒状の授与



大島造園土木株式会社(静岡営業所)柿島一男氏

静岡県優秀施工者褒状授与式を詳しく見る

育成管理指導事業緑化巡回アドバイザー(夏季点検)が終了しました (2021年11月16日)

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、県内の緑化施設を当協会員が巡回点検し、適切な管理方法をアドバイスする緑化巡回アドバイザーの夏季点検が終了しました。

今年度は、東部地区9箇所、中部地区5箇所、西部地区9箇所の計23箇所です。事業別では園庭等芝生化モデル事業が19箇所、景観づくり団体支援事業が4箇所です。

夏季点検は例年9月でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により点検時期を延期し、11月2日から16日までの間の5日間で行いました。

点検時期の延期により、WOS(ウインターオーバーシード)を行った施設では既にきれいな冬芝になっていました。



育成管理指導事業緑化巡回アドバイザー(夏季点検)が終了しましたを詳しく見る

「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」を視察しました (2021年10月22日)

令和3年10月21日(木)、22日(金)、「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」の3会場を視察しました。視察では新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、慎重な行動を心掛けました。

○ 概要

「淡路花博 20 周年記念 花みどりフェア」は、平成12 年に開催された国際園芸・造園博「ジャパンフ
ローラ2000」(淡路花博)から20周年を記念して、開催テーマを「みなとつながる「花 緑 食の島」淡
路」とし、春(令和3年3月20日(土・祝)から5月30日(日))と秋(令和3年9月18日(土)～10月31日
(日))の2回、兵庫県淡路島内の3箇所のメイン会場(淡路会場、南あわじ会場、洲本会場)とサテライ
ト会場で開催されました。

○ メイン会場

(1) 淡路会場

淡路花博が開催された場所で、「淡路夢舞台」と「淡路島国営明石海峡公園」からなる会場です。

「淡路夢舞台」は、関西国際空港などの大阪湾の人工島を築くための土砂採取地から建築家安藤忠
雄氏の設計により花と緑で再生された空間で、ダイナミックな斜面を利用した「百段苑」や「淡路夢舞台
公苑温室あわじグリーン館」など様々な施設があります。



【百段苑】山の斜面に階段状に100段の
花壇が並び季節ごとの花や植物が楽しめます。



【淡路夢舞台公苑温室あわじグリーン館】
令和3年9月にリニューアルされた日本最
大級の温室です

「淡路島国営明石海峡公園」は、「淡路夢舞台」に隣接する約 40 万平方メートルの広大な敷地内に、
四季折々の花が咲く誇る国営公園です。



【タコトピアリー】西側ゲートを抜けると「明石ダコ」をイメージした造形物が見学者を出迎えます。アキランサスの赤が良くマッチしています。



【台地の虹花壇】池の南側の大きな花壇では、コスモスが見頃です。コスモスは園内各箇所に植えられていました。



【花火鳥】震災からの再生と復興の祈りを込めた高さ4メートル長さ30メートルのモニュメントです。訪問時は手入れ中でした。



【ポプラの丘花壇】園内中央部のポプラの丘ではケイトウがきれいに咲いていました。



【陽だまりの丘花壇】作業スタッフがダリアの手入れの途中でした。



【移ろいの庭花壇】園内東側の移ろいの庭のマリーゴールド

(2) 南あわじ会場

南あわじ会場は、南あわじ市にある「淡路ファームパーク イングランドの丘」が会場です。イギリスの湖水地方をイメージした農業公園で、コアラ館や動物ふれあい施設も併設されています。



【イングランドの丘】2200平方メートルのお花畑に植えられた10万本のコスモスが見事でした。



【イングランドの丘】キバナコスモスが池の水面に映えてきれいでした。

(3) 洲本会場

洲本会場は、市街地にある市民広場で、周囲には明治・大正期の赤レンガの建物があり、段ボールアート展や夜間のプロジェクションマッピングなどの併催行事が行われていました。



【洲本市民広場】洲本会場は、市街地にあるユーカリの巨木がある都市公園です。

【洲本市民広場】周囲の旧紡績工場の赤レンガ建築群はリノベーションされ、図書館やレストランになっています。

「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」を視察しましたを詳しく見る

令和3年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)伝達式(2021年10月20日)

令和3年10月20日(水)午前11時から静岡県庁本館4階403号室において、令和3年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)の伝達式が行われました。

静岡県からの推薦者4名の内3名が出席し、本協会会員の(株)ひかり造園の辻豊(つじゆたか)氏が、環境対策に配慮した工事や高校生のインターンシップの対応を評価され受賞されました。



名雪建設経済局長から大臣顕彰を受ける
辻氏



(株)ひかり造園の辻豊氏

[令和3年度優秀施工者国土交通大臣顕彰\(建設マスター\)伝達式を詳しく見る](#)